

2012年3月期 決算説明会 質疑応答概要

- Q1 : 「グランナイツヒストリー(PSP)」、「閃乱カグラ -少女達の真影-(ニンテンドー3DS)」、「牧場物語 はじまりの大地(ニンテンドー3DS)」の累計出荷本数を教えてください。
- A1 : 2012年3月末までの累計で、「グランナイツヒストリー」が約11.3万本、「閃乱カグラ -少女達の真影-」が約8.8万本、「牧場物語 はじまりの大地」が約19万本です。また、各タイトルとも継続してリピート受注を獲得しており、「牧場物語 はじまりの大地」につきましては現時点で20万本を超えております。
- Q2 : 「PlayStation Vita」向けソフトに対する今後の方針をお聞かせください。
- A2 : 今期も複数のラインナップはしており、市場環境等を鑑みながら順次タイトルを投入していく予定です。
- Q3 : 「ブラウザ三国志」について、2012年3月に単月売上の過去最高値を更新した要因を教えてください。
- A3 : 大型のイベント・キャンペーンを行ったためです。
- Q4 : オンライン事業の今期計画について、上期と比べ下期が増収増益となっている要因を教えてください。また、人員計画についてはどのようにお考えですか。
- A4 : 今期の上期にオンラインの新規タイトルを複数タイトルサービスインする予定です。新規タイトルの立ち上げ時は費用が先行する傾向にあり、本格的に収益へ寄与するのは下期以降と見込んでいるため、上期と比較して下期が増収増益の計画となっております。
- 人員計画につきましては、外注と内製のバランスを鑑みて配置しておりますので、期中に大幅な増員を行う予定はございません。

- Q5 : 競争環境も益々厳しくなっていますが、オンラインの新規タイトルについては、全て成功するという前提のもと業績に見込んでいるのでしょうか。
- A5 : 新規タイトルについてはサービスを開始してみないと分からない部分もございますので、これまでの実績や経験を踏まえながら、平均的なところで予想を立てております。
- Q6 : グローバル戦略について、欧米地域への取り組みに関する説明がありましたが、アジア地域への取り組みに関してはどのようにお考えでしょうか。
- A6 : アジア地域におきましては、日本産コンテンツとの親和性が高いと考えておりますので、ライセンスアウトを中心に展開してまいります。
- Q7 : オンライン事業の今期計画について、既存タイトルと新規タイトルの売上構成比を教えてください。
- A7 : 概算になりますが、既存タイトルがほぼ前期並みの計画で、それにプラス新規タイトルというイメージです。
- Q8 : オンラインゲームについて、プラットフォームに支払う手数料はPCとモバイルで違うのでしょうか。
- A8 : ケースバイケースですが、基本的にはあまり違いはございません。

以上